

題材「小さな生き物観察」1時間中の第1時

(1) 学習のねらい

生き物を捕まえ死なせてしまい飼っていた生き物に対して関心がある子どもたちが、身近な水の中にある小さな生き物を観察することを通して、目に見えないところにも多くの生き物が生きていることに気づき、生き物に対する意識や関心を高めることができる。

(2) 本時の学習材

顕微鏡とテレビ表示

- 学級の時間や生活の時間で生き物に対する意識があることが確認された子どもたちに微生物の存在を知らせるとそれを見たいと考えるだろう。そのような意識を捉えたところで学習材を提示する。
- 本学習材は水中の微生物を見ることができる顕微鏡とそれをテレビに表示したものである。目には見えない微生物を実際に見ることで子どもたちの意識や関心の高まりを期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学 習 活 動	予想される子どもの動き	時間	指 導 と 評 価
課題把握	1 学級の時間に出た生き物の話から知っている生き物の大小について考える。	○いろいろな生き物を捕まえてきたけど死んでしまった。 ○生き物にはいろんなものがある。 ○見えないから生き物はいない。 ○見えないくらい小さな生き物がいるかもしれない。 ○小さい生き物ってどれくらい小さいのかな？ 学習問題 みのまわりの いきものはみえているもの だけなのか。	10'	○学級の時間に出た K 君の生き物を大切にしたいという話を出す。 ○水を見せる（大池の水とは言わない）。 ・大きい生き物を聞き小さい生き物を聞く。 学習材 顕微鏡とそれをテレビに表示したもの
展開	2 顕微鏡で大きくしたものをテレビに映して見る。	・変な形だな。 ・これは見たことがある。 ○目に見えなくてもこんないろいろな生き物があるんだ。 ○あの水槽にもいるんじゃないかな。	25'	・小さい生き物たちを見てみたいという意識が高まったところで学習材を提示する。顕微鏡の像を、端末を用いてテレビに表示する。
終末	3 活動を振り返る。	○生き物のことをもっとよく考えたい。	5'	評価 生き物に対する関心や意識の高まりを活動やつぶやきから捉える。

(4) 反省